学校番号	４０１

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、美術作品や映像作品などのよさや美しさ、表現の効果などを感じるとともに日本や諸外国の美術文化への理解を深める「鑑賞」の分野について学習する。
■一人ひとり、思いや見方、感じ方が違うので、表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めるよう基本的な知識と技能を習得する。また、互いの作品や作家の作品を鑑賞し、個々の見方や感じ方の違いを共有することで感性を高める。
■作品の制作が中心となるので、継続的な取り組みと作品の完成・提出が不可欠となる。また、制作過程ごとの振り返りや鑑賞ワークシートなどレポート形式の課題も求める。

2　学習の到達目標

■美術の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作または鑑賞の様子（観察） ワークシート	制作の様子（観察） ワークシート 制作途中の作品(アイデアスケッチ含む) 提出作品	制作の様子（観察） 制作途中の作品 提出作品	鑑賞の様子（観察） レポート ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術とは・素描	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 　教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術1」の学習イメージを持つ ・基本となる鉛筆の削り方と使い方を学ぶ ・鉛筆による幾何形体(デッサン1) ・色鉛筆による描写(デッサン2)	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している c:基礎デッサンの目的を理解し、鉛筆・色鉛筆の特徴を生かして表現している d:美術作品の良さや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている	観察 作品
	ものの見方・画材研究	【絵画・彫刻】 ・画像や映像を用いて3次元を2次元に変換するものの見方を学ぶ ・画像や映像の加工により、図法・製図(パース)とグレースケールについて学ぶ ・画材の違いによる質感表現について学ぶ ・上記で学んだ内容を元にして、複数の画材を組み合わせた絵画作品を制作する ・相互鑑賞・合評会	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	 ○	a:人間の視点とカメラの視点との見え方の違いに関心を持ち、表現に生かそうとしている b:画像や映像によってモチーフから得られる情報を整理して構想を練っている c:画像や映像の助けを借りることによる形や色の見え方や構図の取り方、画材の特性を理解し工夫して表現している d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなど鑑賞により感じ取ったことを、言葉で表現する	観察 作品
	日本画基礎	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・日本画の画材や作品、季節感の表現について学ぶ ・運筆練習 ・寸松庵色紙または絵手紙用和紙ハガキに制作する ・相互鑑賞・合評	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○	a:日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、理解しようとしている b:日本の伝統的な絵の具の扱いや運筆などについて理解し、表現に繋げるよう構想を練っている c:日本画の絵の具の扱いや特徴的な画面の構図に留意しながら、表現方法を工夫して描いている d:作品のよさや美しさなどについて理解を深めている	観察 作品

2学期	メディアと美術(NIE)	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・メディア(主に新聞)と美術とのかかわりを映像等で学ぶ ・テーマに沿って新聞記事から着想した作品のアイデアを考える ・適した画材を用いて制作する ・制作意図についてワークシートに記入する ・相互鑑賞・合評会	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:新聞と美術との関わりについて相互の役割や効果、歴史的背景などについて関心を持ち、積極的に取り組もうとしている b:新聞の特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、平面制作による表現と言葉による表現と両面からの構想を練っている c:新聞を利用することによる視覚的効果やテーマ性を考えながら、用具の特性を生かして表現する d:作品の主題や作者の意図、メディア（新聞）の利用による表現への効果を読み取り、作品や作者について理解している	観察 ワークシート 作品
	装飾的な楽器	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・木材の加工について学びながら楽器を制作する ・伝統的文様や装飾について学び、楽器のデザインについてアイデアスケッチをする(ワークシート) ・適した画材を用いて楽器に装飾を施す ・演奏・相互鑑賞・合評会	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:日本や世界の楽器について、種類や構造、その造形や装飾について関心を持ち、制作に繋げようとする。材料の加工について、安全性や仕事の美しさに留意しながら加工技術を身につける b:木材など使用する材料の特性と、制作しようとする楽器の構造について理解し、表現の構想を練っている c:材料や画材の特性を生かし、表現方法を工夫しながら美しい仕事でもって表現している d:楽器としての機能の工夫や造形・装飾の美しさなどを感じ取り、作品について理解を深めている	観察 ワークシート 作品
3学期	人物デッサン	【絵画・彫刻】 ・人体を描くために必要な知識と技能を習得する ・効果的な着彩方法についての演習	○ ○	○ ○			a:人体の表現のために必要な芸用解剖学について関心を持ち、人物表現に必要な基礎的造形について理解する b:これまで利用してきた画材を用いて、人体の表現に効果的な着彩表現について理解する	観察 作品

	美術史	【鑑賞】 ・作家について、映像などを通して学ぶ ・ワークシート・レポート	○ ○			○ ○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている d: 美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解してそれを言葉で表現する	観察 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。